

真岡市市民活動推進センター

令和5年度利用者アンケート 報告書

1. 目的

真岡市市民活動推進センターでは、毎年、利用者アンケートを行い、センターを運営する際の参考としている。本年度は、今後、スキルアップ講座で取上げてほしいカテゴリや、視察研修で行ってみたいカテゴリ、センターの講座や広報誌で取上げてほしい話題などについても調査項目とした。

2. 実施期間

令和6年3月9日（土）～令和6年3月31日（日）

3. 調査対象

真岡市市民活動推進センターに登録する団体の代表 220 名、および登録個人 109 名

4. 調査方法

- ・登録団体および個人宛てに郵送発送
- ・返信用封筒による郵送、アンケートフォーム、窓口にて回収

5. 回収状況

アンケートの回収状況は下記の通り。

	団体	個人
回収数	80 票	23 票
（うちネット回答）	（15 票）	（2 票）
有効回収率	37.2%	21.9%

6. 結果概要

今回のアンケートでは、登録団体の代表者 220 名、登録個人 109 名について調査した。

【団体】

アンケート回答状況は、37.2%で、昨年の2.7%よりも増加している。

アンケート実施時、活動中の団体は 89.6%と昨年度（86.3%）を上回った。新型コロナウイルス感染症の影響で休止中の団体は 1.3%となり、昨年の8.5%から大きく減少

し、活動の再開が進んだことが分かった。反面、活動を停止あるいは解散する団体も昨年よりやや増えていた（R4：2.8%→R5：3.9%）。

サービスやスタッフの満足度に対しては「満足」「どちらかといえば満足」が90%前後を占めている。ただし、施設については80%前半で、かつ「不満」と答えられる方も見られた。理由として、「真岡市内から遠い」「ミーティングルームがいつも混んでいる。」といった意見が出ていた。

全体の満足度に対する意見として、満足をしているという意見とともに、スタッフや施設利用に対して感謝のお言葉を頂いている。また「身近なイベントを計画してほしい」「大型モニターを貸してほしい」という意見も出ていた。

自由意見では、災害対策、インクルーシブ分野の推進に関して要望や、意見など幅広くいただいている。活動場所の拡充を希望する声などがあつた。

充実すべき支援内容では、「作業場所の提供（作業スペース、印刷機、コピー機等）（43件）」「活動拠点の提供（ミーティングルーム、交流コーナー等）（38件）」が半数近くから求められ、続いて「各種講座や研修などの人材育成（24件）」「ボランティア・NPOに関する情報提供（23件）」「インターネットを利用した情報提供（20件）」といった内容が選ばれていた。今年から、「登録者同士の相互交流の場の提供（13件）」の項目を増やしたが、現時点ではそこまで大きく求められてはおらず、まずは自分たちが活動する場所を優先している状況が見て取れた。

スキルアップ講座で取り上げてほしい項目としては、「参加者の確保」「広報の方法等について」が共に22件と最も多く、続いて、「団体の運営等について（18件）」「IT技術（17件）」が挙げられていた。

視察に行ってみたいカテゴリについては、「学術・文化・芸術（29件）」が最も多くあり、次いで「生涯学習（27件）」「高齢者福祉（22件）」と続いた。具体的は茂木町の「ふみの森」、国立市のインクルーシブ公園、えんがおなど具体的な場所から、子ども食堂や居場所、地域での援助活動の現場などの知りたい活動が挙げられていた。

講座や広報誌で取り上げてほしい話題については、「文化や芸術について（30件）」が最も多く、続いて「地域コミュニティ（27件）」「こども食堂や居場所（21件）」「防災や災害ボランティア（19件）」が挙げられていた。

センター事業に参加しやすい曜日は、「土曜日（27件）」が最も多く、「日曜日（20件）」「いつでも可（16件）」と続いた。

センター事業に参加しやすい時間帯については、「午前（9-12）34件」が最も多く、「お昼ごろ（12-15）22件」「終日17件」と続いた。

センター事業に参加しやすい場所については、「二宮コミュニティセンター54件」が最も多く、「Auto Mirai 真岡公民館（真岡市公民館）43件」「真岡市庁舎会議室26件」と続いた。その他では、二宮コミュニティセンター以外の二宮地区の施設や、真岡市内の公民館や施設が挙げられていた。オンライン（14件）でのニーズはそこまで高くないことが分かった。

最後に、団体の基礎情報から7団体の登録変更と3団体の廃止を受け付けている。

【個人】

アンケート回答状況は、21.9%で、昨年の12.2%よりも増加した。

アンケート実施時、活動中の個人は52.2%で昨年の61.5%よりも減少している。原因として、活動停止あるいは解散として登録の廃止を希望した方が、21.7%に上った。新型コロナの影響により活動休止中の方は見られなかった。

満足度については、すべての項目で「満足」「どちらかといえば満足」が70～80%であった。個人アンケートの傾向として、使っていないことや活動していないことから「どちらともいえない」や未回答を選ぶ場合が多い様子が見える。

充実してほしい内容としては、「各種講座や研修などの人材育成（11件）」「ボランティア・NPOに関する情報提供（10件）」「登録者同士の相互交流の場の提供（10件）」が上位に挙がっていた。個人は団体よりも、スキルアップの機会や、つながりを求めていると見える。

自由意見には、「講座での障がい者への対応などで他団体と話し合えたら」「安心安全なまちづくりのアピール」などの意見がみられた。

スキルアップ講座で取り上げてほしいカテゴリについては、「人材（スタッフ）育成や確保」「ボランティアのマネジメント」が共に7件と上位にあり、「広報の方法等について（5件）」「参加者の確保（4件）」と続いた。

視察に行ってみたいカテゴリについては、「防災・災害支援（8件）」「学術・文化・芸術（7件）」と続き、他のカテゴリも全体的に回答があった。

具体的に見に行きたい場所としては、「真岡市と姉妹都市になっている海外の街の取り組み」や、「地域課題に応じた取り組みをしている団体」などが挙げられていた。

講座や広報誌で取り上げてほしい話題については、「こども食堂や居場所（8件）」「地域コミュニティ（8件）」「防災や災害ボランティア（7件）」「文化や芸術について（7件）」と続いた。

センター事業に参加しやすい曜日は、「いつでも可（9件）」「土曜（7件）」「日曜日（6件）」が大多数を占めていた。時間帯は「午前（9-12）」「お昼ごろ（12-15）」がそれぞれ10件で最も多かった。場所については「二宮コミュニティセンター（12件）」が最も多く、次いで「Auto Mirai 真岡公民館（10件）」だった。おおむね団体と同様の結果だった。

最後に、個人の基礎情報等から2名の登録変更と5名の廃止を受け付けている。

7. 総括

団体の回収数は80件、回収率は37.2%と昨年よりも伸びた。インターネットでの回答は15件と、昨年（13件）より増加した。個人に関しては、昨年より10件増の23件と、回収数が伸びた。また本年度も返信用封筒によるアンケート回収を実施した。周知が進んできたためか、団体、個人共に回収数が上がった。

本年は、定例の質問（問1～2）に加え、スキルアップ講座で取り上げてほしいカテゴリ、視察に行ってみたいカテゴリ、講座や広報誌で取り上げてほしい話題についての設問を加えている。また、今回もアンケートを廃止届として利用できるようにした結果、団体3件・個人5件の計8件の届けがあった。

内容については、現在の活動状況でコロナ禍以前の活動に戻りつつあることは大変喜ばしく思う。問1～2については、団体は概ね例年通りのようだが、個人は、サービス以外は「満足」が減って「どちらかといえば満足」が増えた。意見・理由でも明確な理由は見当たらない。課題を特定し改善していきたい。

また、センター事業に参加しやすい曜日は土日、時間帯は、午前中、昼頃、場所は、二宮コミュニティセンターが利用しやすいことが判った。オンラインも活用されている方が増えてきている。講座を開くうえで、今後の参考にしていきたい。

今回のアンケートで施設の在り方を考えるうえでの有用な意見を収集することができた。回収率の課題については引き続き検討しながら、利用者の意見を丁寧に集めている。

きたい。

8. 別添資料

- ・アンケート集計結果
- ・アンケート原本